

2020 年度 教育研究活性化経費の評価結果について

本経費は、学内予算を競争的に配分し、特色ある教育・研究の活性化等を図ることを目的に平成 12 年度から導入されたものです。若手研究プロジェクト、教育関係プロジェクトに採択された課題については、その実施期間満了の翌年度に評価を実施することになっています。2019 年度に終了した教育・研究課題（23 件）について、成果報告会を開催するとともに、執行部を評価委員とする評価を実施しましたので、その結果を公表します。

教育研究活性化経費の概要

1. 趣旨

本学における学術研究の発展に資する、今後活躍が期待される若手教員並びに本学の学術的プレゼンスを向上させ、独自性を出すことを目的とした教育関係プロジェクトに対し、必要な経費を配分する。

2. プロジェクト類型

若手研究	100 万限度
教育関係	内容精査後、決定

評価について

1. 評価方法について

成果報告書を作成するとともに、成果報告会にて評価委員に対し成果を発表する。評価委員は書面及び成果発表に基づき、評価を実施する。

2. 評価委員

学長、理事・副学長、学長の指定した副学長

3. 評価の観点

1. 当初計画の達成度
2. 教育研究成果

4. 評価の採点方法

評価の観点について総合的に判断し、各評価委員 5 点満点で採点の上、平均点を算出し、以下のとおり 4 段階にて評価結果を表す。

4.0 点以上=A

2.5 点以上 4.0 点未満=B

1.0 点を超えて 2.5 点未満=C

1.0 点=D

<2020 年度評価一覧>

区分	所属	氏名	課題名	評価
若手	機械工学系	秋月 拓磨	小型圧電素子を用いた生体センシングデバイスの開発	A
若手	機械工学系	足立 望	単相セメンタイトの創製と特性評価	A
若手	機械工学系	石井 陽介	PMMA の動的応力拡大係数のき裂進展加速度依存性に関する検討	A
若手	機械工学系	鹿毛あずさ	微小流体操作による細胞運動制御	B
若手	機械工学系	白砂 絹和	起立性調整障害の時系列解析による要因分析とそのサブタイプ自動診断システムの作成	A
若手	機械工学系	松原 真己	擬似連続撮像システムによる振動計測	A
若手	機械工学系	吉永 司	ヒトの摩擦音/s/発音起源の探求	A
若手	電気・電子情報工学系	阿部 晋士	周波数変調とパルス圧縮を用いた低干渉高効率ワイヤレス電力伝送方式の提案	A
若手	電気・電子情報工学系	川島 朋裕	超音波を用いた半導体デバイスの非破壊故障解析手法における検出感度向上の検討	A
若手	電気・電子情報工学系	後藤 太一	スピン制御レーザーの応用展開	A
若手	電気・電子情報工学系	針谷 達	同軸型パルスアークプラズマジェット源による硬質カーボン膜の高速成膜	B
若手	電気・電子情報工学系	引間 和浩	電子構造の深さ分解解析に向けた固体電解質支持型全固体電池の創製	B
若手	電気・電子情報工学系	Moise Sotto	All Photonic Crystal Based Optical Modulators	B
若手	情報・知能工学系	浅川 徹也	画像・動画から共起する複数感情のマルチラベル問題の推定と各感情の強度推定	A
若手	情報・知能工学系	日根 恭子	認知活動の個人差に関する処理バイアスによる統一的理解	A
若手	応用化学・生命工学系	荒川 優樹	セレン系ツイストベンドネマチック液晶材料の開発	A
若手	建築・都市システム学系	岡辺 拓巳	漁船ビッグデータを核とした海底地形データ生成技術の研究	B

区分	所属	氏名	課題名	評価
若手	建築・都市システム学系	辛島 一樹	ビッグデータを活用した救急隊の効率的運用に関する研究	B
若手	建築・都市システム学系	松尾幸二郎	先進プローブ情報を活用した道路交通マネジメント～ペナンへの展開～	A
若手	建築・都市システム学系	松田 達也	造波水路実験における波浪－構造物－地盤連成問題に関する基礎的研究	A
若手	総合教育院	TAN WAI KIAN	Development of nanoscale reduced Graphene Oxide (rGO) sheets via chemical solution process for various application	A
若手	エレクトロニクス先端融合研究所	大島 直樹	会話の微視的分析に基づく人の共感を誘うことの可能な対話ロボットの実現	A
教育	総合教育院	中森 康之	技術者教育にふさわしい、新リベラルアーツ教育構築のための基礎調査	A

(2021年1月8日掲載)